防災対策として

私たちは西宮市南部の西宮浜の集合住宅７階に、自発呼吸当事者の妻と重度訪問ヘルパーさんの３人で生活しています。

地震・台風等の災害に直面し困るのがライフラインの確保です。

台風は気象情報の精度が格段に向上されていますが、地震に関しては一定以上の観測精度しか確立されていません。

そこでライフラインの防災対策として、ガス・電気・水道が挙げられますが、一般家庭で常時備蓄可能なのがガス（液化ブタン）・長期保存飲料水・蓄電池（ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙ電源）と考えています。

防災対策としての準備

（私たちの準備品）･･･48時間対応として

①　ガス（液化ブタン）は普段より料理に使用出来るカセットコンロ用の物で、保存も利き普段使いも可能な物を準備予定としています。

（１０～１５本程度）

②　飲料水は市販品の５年水（２L／本）を６本常備しています。生活用水としては風呂水の再利用とし備蓄するようにしています。

防災対策としての準備

（私たちの準備品）･･･48時間対応として

③　電気は蓄電池を２台（200W、300W)を常設しています。

近いうちに1000W用の蓄電池１台と、発電機（900Wガス発電タイプ）を準備する予定です。

その他、吸引機用予備ﾊﾞｯﾃﾘｰ１台、携帯電話用ﾓﾊﾞｲﾙﾊﾞｯﾃﾘｰ2台、乾電池４種（特に単３は充電池式に切り替え中）を準備しています。

その他、電池式持続吸引器、外出用吸引器も準備しています。

現在使用中の蓄電池　300W

購入予定の蓄電池　1000W

購入予定の発電機　900W